



辺野古の海を壊すな！

「島ぐるみ会議」と神奈川 を結ぶ会・ニュース

2015年12月21日 第2号

発行 島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会

代表世話人 仲宗根保・高梨晃嘉

連絡 090-7402-5245 檜鼻

090-4822-4798 深沢

【主張】アベコベ内閣の早期退陣を！（代表世話人：仲宗根保）

12月3日（木）島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会主催で、神奈川大学法科大学院教授の阿部浩己さんを講師に招いて、「辺野古の海を埋め立てるな！沖縄の自己決定権を考える講演集会」を横浜開港記念会館で行った。1年前に那覇市長だった翁長雄志（現沖縄県知事）が中心となり、前知事が選挙公約を反故にして辺野古新基地建設の推進を行った事に反発し、オール沖縄構想を打ち立てて、保守・革新関係なく「県民の民意で辺野古に米軍基地を作らせては絶対ならない」という1点を最大スローガンに掲げ、名護市長選挙、県知事選挙、衆議院選挙と全ての選挙で圧勝した。講演集会では、国際法の専門家として（1）あらゆる人権保障の基本となる自己決定権：国際人権規約第一条 1.すべての人民は自決の権利を有する。この権利に基づき、すべての人民はその政治的地位を自由に決定し並びにその経済的、社会的及び文化的発展を自由に追及する。という所を力説していました。安倍強権内閣が憲法を蔑ろに、戦争法案を強行採決し、圧倒的民意に反する辺野古新基地建設強行、野党からの臨時国会召集の請求にも応じないで、国家存亡の財政赤字を抱えながら諸外国で大盤振る舞いの大はしゃぎ。こんなアベコベ内閣は1日も早く退陣させよう！

神奈川県知事、横浜市長に要請行動を展開（神奈川アクション）

12月14日、神奈川アクションが知事ならびに横浜市長宛てに、政府に地方自治等の尊重の声をあげるべきとの要請行動を展開。県は、政策局知事室調整監に、横浜市は市民局広聴課長が対応。要請行動には賛同団体の代表者が参加。「声をあげないことは国の理不尽な言動を認めることだ」、「国の暴走を止めるのも自治体の役割の一つ」などと要請した。

★要請事項「憲法が掲げる地方自治を体現する自治体の長として、政府に対して、沖縄県民の民意と地方自治の尊重、並びに辺野古基地建設を強行しないことを申し入れてください。」

工事用車両を止めた！一大結集が始まったゲート前座込み行動



正当な手続きに則った翁長知事の埋立承認取消処分を無視して強

行される沖縄防衛局の違法工事を止めようと、キャンプシュワブ工事用ゲート前座込み行動に沖縄全島、県外からの大結集が始まっている。ゲート前座込み500日目を迎えた11月18日には1200人が早朝6時から早朝行動で大結集。工事用ゲートを終日封鎖することに成功した。いつもは機動隊が座込みを暴力的に排除して無理やり工事用車両を基地内に入れるのだが、この日は手を出すこともできなかった。現地では毎週水曜日を集中行動日として大結集しているため、以降、水曜日は工事用車両の進入を阻止し続けている。しかし他の曜日は座込み人数が少なく、機動隊の暴力的排除だけが人も続出する事態となっている。11月からは警視庁機動隊も投入された。

現地からは辺野古座込み行動、特に早朝6時からのゲート前行動への結集が呼びかけられている。「結ぶ会」では以下の日程で辺野古座込み行動参加ツアーを準備中。参加ご希望の方は「結ぶ会」までご連絡ください。

辺野古座込みツアーのご案内

期間 2016年2月23日 - 26日
定員 20～30人程度
費用 実費検討中
主催 「結ぶ会」

全沖縄、全県民的な結集軸「オール沖縄会議」結成大会に1300人！



12月14日、宜野湾コンベンションセンターホールにて「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議」結成大会が開催され、会場満席の1300人が集まった。山城博治さんが「巨大な政府権力に立ち向かい最終的にこの闘いに勝利するための戦略を描き、闘いを統一的に掌握し組織する」「全沖縄、全県民的な結集軸の形成」を宣言する設立趣意書を力強く読み上げた。共同代表・稲嶺名護市長や翁長知事も登壇しアピール。外は冷たい雨だったが会場内は熱気ムンムン、あっという間に二時間が過ぎた。

結成の効果はすぐに現れた。いつもは手薄になる12月17日木曜日の早朝行動に150人を超える人々が集まった！

1/4(月)防衛省行動 18時半
1/24(日)辺野古NO！新宿デモ
14時 新宿駅東口オルタ集合
2/21(日)第4回国会包囲行動
14時 国会周辺集合

報告：12.3講演集会

12月3日の「辺野古の海を埋め立てるな！12.3講演集会」は、会場となった横浜市開港記念会館会議室ほぼ満席の90人の参加。主催は「島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会」で、35団体・個人が賛同。ちょうど前日の2日に辺野古埋立て取消を巡る代執行訴訟第1回口頭弁論が福岡高裁那覇支部であり、翁長知事が取消処分を訴えた直後。タイムリーな企画となった。



冒頭、辺野古の「座り込み500日」の早朝行動に1200人が結集して工事車両進入ゲートを終日封鎖するという歴史的な闘いを展開した11月18日のゲート前座込み行動を中心とした約20分の映像が上映された。

主催者挨拶に立った高梨晃嘉・「結ぶ会」代表世話人は、「沖縄の闘いに思いを馳せ、神奈川の地でどのような闘いを進めるのかが問われている。」と述べ、戦争法廃止の闘いと戦争国家化の最前線にある沖縄・辺野古の闘いが一体のものであることを強調した。



講師の神奈川大学法科大学院・阿部浩己さんは、「国際人権法から見た沖縄の自己決定権」のテーマを、明治国家による琉球王国併合の歴史にまで遡って、真正面から論じた。国際法上の正当な根拠なき琉球併合が、現在の軍事植民地状況という「継続する不条理」の根源にあること、沖縄の基地問題は日本問題であり、ヤマトに暮ら

す私たちも当事者であることを強調した。

「海を埋め立てるな！12.3講演集会」 「国際人権法から見た沖縄の自己決定権」



講演のあと、辺野古の現地闘争を取り組む学生グループ、「専修大学・辺野古ゼミ」のメンバーが「いま辺野古で起こっていること」と題して報告。集会冒頭に上映した辺野古現地の映像も「辺野古ゼミ」が製作編集した。辺野古現地で沖縄戦を体験したおじい・おばあがゲート前に座り込み、基地建設資材を積んだ工事車両の前に立ちはだかる行動を見て衝撃を受け、沖縄の歴史と軍事植民地の現状を学び始めた若者の率直な発言は、共感を呼んだ。終了後、学生本人へのカンパも寄せられた。

「結ぶ会」からの行動提起として、辺野古現地座り込み闘争への参加と支援カンパが呼びかけられた。来年2月下旬に「結ぶ会」として辺野古座り込みツアーを計画中。会場からの辺野古カンパは50,180円。辺野古現地に届けられる。最後に仲宗根保「結ぶ会」代表世話人からの「オール沖縄の闘いに連帯し神奈川の地から頑張ろう！」という閉会挨拶で締めくくった。終了後の交流会にも30人近く集まり、講師も含めて交流を深めた。

★アンケートに寄せられた意見(一部)。ご協力に感謝します！★

現地の状況がよくわかりました。講演のテーマが大きいので実践の歩へ引きつけて考えるのが重要だと思います。本土(日本～神奈川)の問題として連帯を広げていきたいと思います。(35歳男)

学生さんにもカンパをお願いします。沖縄のこと、あまり良く知らなく、いい勉強になりました。それにしても“人権”が無視される政権のふるまい。マスコミがあまり“辺野古”関係報道しませんね。福島の問題と根は同じと認識して

おります。(68歳女)

来年はぜひ辺野古へ行きます。できることをする、行動が大事。辺野古を闘うことは戦争法を闘うことと同じ、最優先と聞き、ハッとしました。今大切なことを先送りしてはいけない。闘っている人々がいるのだから連帯していきたい。元気が出ました。党派を超えて！沖縄に学べ、がよく分かりました。

(67歳女)

自己決定権という言葉を読らざるを得ない沖縄の現状について、いかに本土での歴史認識、教え方が本土中心できているか改めて認識した。沖縄の基地問題を本土の問題、日本の問題として捉え広め行動する必要を痛感した。(61歳女) 人民の自己決定権というキーワード、裁判に関わっている最大の問題ではないかと思えます。国の問題なのだ。新たな基地など造らせない。違憲である安保法制、民意を受け入れない横暴な政権運営に憤りを覚える。ぜひ参議院選挙に向けて連合政府を確立しよう。専修大学生、若い辺野古での体験談、若い力強い発言には、勇気をもらう。(70歳男)

改めて私たちに、沖縄＝私はどうする？を問いかけられたと感じています。国会前やでもに参加し、警察官にイザという時に銃口を私たちに向けますか？と問いかけた気持ちになります。沖縄の人たちは、より強く思うのではないかと感じています。(58歳女性)

今年は所属する全造船関東地協で辺野古支援ツアーを実行できた。私は都合で参加できなかったが、今後機会を作って積極的に参加していきたい。「地球を守る気持ち」があれば基地の移設(新設)でなく、縮小、廃止しかない。本土に住む我々も神奈川の米軍基地も含め、沖縄と連動して闘いを進めていきたい。格調高い講演を拝聴できて感謝する次第です。(65歳男) 阿部先生のおかげでスッキリ理解できました。がんばりましょう。これからです。(67歳)

